

新型コロナ第9波兆し

7月23日から25日は御殿場地方のお盆となっており、各家庭、では来客やお盆独特のお飾りの準備に追われ、医者に行く暇もないのが普通で、私が開業した40年前は、この期間中診療所は開店休業の状態でした。その風習は今も続き、特にお年寄りの多い当院の外来は今年もこの期間中いつもより、外来は平和でした。

しかし困ったのは発熱患者さんの増加でした。子供のヘルパンギーナやRSウイルス患者の増加に交じって、新型コロナ患者も確実に増加しています。しかもめったに来院したことのない初診患者が多いのもこの頃の傾向です。コロナは一度感染すれば、医療関係者であれば5日間は休養するのが当然で、むしろ5日ではまだ感染力はあると思われ周りの職員への影響も少なくありません。今後各地で夏祭りが行われ、盆踊りが催行され、夏休みの帰省が本格化すれば、ますます感染者は増加するものと予想されます。外人の来訪も本格化し、マスクももう半分ぐらいの人がしないようになりましたが、重症化こそ少ないものの、決して感染力が弱まった訳ではないので感染対策は今まで同様に続けた方が良いものと思われまます。まだまだ酷暑の夏、が続きそうです。コロナばかりでなく熱中症にも気をつけてお過ごしください。

